



学校便り
No. 3 3

武蔵

令和6年3月1日(金)

文責：池田 誠

前号において6年生の「卒業プロジェクト」を紹介しました。もうすぐ卒業する6年生が、学校や友達、家族や地域に感謝の気持ちを表す取組を進行させています。このような6年生に1年から5年生までの在校生も大変お世話になっています。そこで、5年生の企画委員会が音頭をとり、クラスごとに「お世話になった6年生に感謝の気持ちを伝える最高の取組を決めよう」という議題について話し合いを行いました。クラスで決まったことと代表委員会で決まったことをお伝えします。

お世話になった6年生に感謝の気持ちを伝える最高の取組を決めよう

○ 各クラスで取り組むこと（各クラスで決定）

1年1組	6年1組を招待して、一緒に遊ぶ。
1年2組	ハートのお手紙と折り紙や絵のプレゼントを渡す。
2年1組	お手紙とプレゼントを贈る。
2年2組	2クラスに花束を作る。感謝のおみくじを作る
3年1組	折り紙の中に手紙を入れて渡す。
3年2組	クラスで行う全員遊びを6年生と一緒にする。
4年1組	メッセージカードを作り、周りに折り紙などを貼る。
4年2組	メッセージを書いて広用紙に貼る。(ハート、花束、鶴、虹)
5年1組	動画でダンスをする。
5年2組	委員会でお世話になった6年生に手紙を書く。

それぞれのクラスがそれぞれの方法で6年生に感謝の気持ちを伝えます。6年生もきっと喜んでくれることでしょう。



○ 1年生から5年生と一緒に取り組むこと（代表委員会で決定）

6年生を送る会で、6年生が退場するとき全員でアーチを作ってお見送りをする。

6年生になると、「最高学年としての自覚をもち、学校全体のことを考えて、下級生の手本になること」を求められます。ですから、普段の学校生活（あいさつや返事、掃除、休み時間の過ごし方、学びに向かう姿勢、生活目標への取組）はもとより、委員会活動やボランティア活動、さらには在校生からは見えない仕事（様々な行事の準備や後片付け）など、6年生は学校全体のために頑張ってくれました。そのことを在校生が知り、感謝の気持ちを行動であらわすことで、6年生の頑張りが「伝統」として在校生に受け継がれていきます。

授業参観・学級懇談会 お世話になりました

本日、本年度最後の授業参観と学級懇談会を開催しました。お子さんのご様子はいかがでしたでしょうか。授業は「今の学年で頑張ったこと、できるようになったこと、次の学年で頑張りたいこと」を発表する内容が多かったかと思います。1年間は本当に早く過ぎ去っていくなあと思いましたが、子どもたちの確実な成長も同時に感じたところです。

1年間、本校の教育活動にご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございました。



【6年生 最後の授業参観】